

2021年度 放送番組審議会 議事録
(株式会社ジェイコム九州 熊本局)

日 時：2022年3月11日（金） 16：00～17：30

場 所：株式会社ジェイコム九州 熊本局 会議室

出席者

委 員：宮園 博光委員（会長）、
松下 純一郎委員（副会長）、
田上 聖子委員、
塚本 薫委員、
岡村 洗斗委員

（以上5名、会長・副会長以下順不同）

事務局：株式会社ジェイコム九州	代表取締役社長	上村 忠
	取締役	中川 伸司
熊本局	取締役熊本局長	首藤 智博
	地域プロデューサー	濱 孝太郎
地域コミュニケーション統括部	統括部長	上妻 栄太
JCOM 株式会社	J:COM プロダクション本部映像制作第一部	
	九州リージョナルマネージャー	篠原 有
	熊本拠点長	橋本 和信
		牧 幸生

●司会進行 委員

1. 開会挨拶

事務局) 本日は、2021年度 新しく始めたLIVE ニュースという番組や、これから先、コミュニティチャンネルが目指している方向性を紹介していきたい。
コロナが2年も続く中、企画したものがうまくいかなかったものもある。そういった背景を含め、弊社の番組等に対し、よりよいご意見を頂きたい。

2. 番組審議会 審議委員について

委員) 本日の審議会には、委員5人中5名が出席。株式会社ジェイコム九州 放送番組審議会規定第4条に基づき、当会は成立。

3. 会長、副会長選出

委員) 今回3名の委員が新任されたため、株式会社ジェイコム九州放送番組審議会第3条3項に基づき、会長・副会長を新たに選任したい。

委員) 会長に宮園委員、副会長に松下委員を推薦したい。

委員一同) 異議なし。

委員) 他薦のうえ異議なしということで、会長に宮園、副会長に松下委員を選任する。

また、今年度における自主番組放送基準等の変更はなし。

4. J:COM チャンネル熊本概要説明 (2021 年度制作方針・番組ラインナップなど)

(1) レギュラー番組の紹介

- ・LIVE ニュース
- ・WEEKLY トピックス
- ・その他 (行政番組・地元プロスポーツチーム応援番組など)

(2) 特別番組の紹介

- ・熊本地震復興祈念特番
- ・Bリーグ 熊本ヴォルターズ戦 生中継
- ・Vリーグ フォレストリーヴズ熊本戦 生中継

(3) J:COM テレビ (全国放送)

- ・TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック
- ・北京 2022 パラリンピック

5. 意見交換 (レギュラー番組・特別番組について)

委員) 非常に新しい部分が多く、チャレンジされている姿勢が伝わる。

委員) 番組改編を行う理由は?

事務局) まず1月から「LIVE ニュース」という新番組を開始。
それまでは、「つながる News」という番組を放送してきたが、
町の情報を引き出せず、生放送のライブ感も出せていないという課題があった。
その改善を目的に改編。より地域の話題や、知りたい情報、今まさに起きている
事を情報発信していくことが我々の役目と考える。
まずは、ニュースを改革することが今回の大きな目的。
それ以外の番組をある程度集約させ、集約した番組への視聴誘導に力を
入れていく。
例えば、今までは『ファンのために』、『この人のために』という番組が多かったが、
これからは、『どうすれば沢山の方に見てもらえるのか』を工夫しないといけない。
そのために品質を上げ、番組の内容や企画を変えていき、改編や変革を行っている。

事務局) 補足すると、地域の利用者が知りたいコロナの情報や災害の情報など
安心安全情報を扱う番組は常に見直しを実施。
試行錯誤しながらやっていく。

委員) 変えていくんだという意味がものすごく伝わる。

委員) 熊本市も日々 新しい取り組みを始めているが、
中学生や小学生に対し『仕事は一つの事をやるのではなく、
人と人が関係して成り立っている』ことを学ぶ取り組みを実施。
この取り組みの制作過程を取り上げて頂くことによって、
熊本市の活動を小学生や中学生が知ることがでる。
例えば、介護業界。
介護は介護士さんが必要だが、給食をつくる調理師もいる。
そのことを介護士や調理師に話してもらおう。
色んな役割の人がいる事で、介護が成り立っていることを理解できる。
また、学校とライブで繋いで授業をすると、授業はで体験できない学びと思う。
インターネットとうまく組み合わせれば誰でも参加できると思う。

委員) 学生はインターネットで情報を見るけど、必要な情報はインターネット
だけではないという隙間にケーブルテレビがアプローチできるのでは。

事務局) 良いコンテンツだと思う。検討する。

委員) 情報はどこから持ってきているのか。

事務局) インターネットも活用しているが、基本的には制作スタッフが記者となり熊本の病院などに行き取材したり、地元のいろんな方に取材したり、これまで培ってきたネットワークがあり、いろいろな情報を仕入れている。

委員) ジェイコムエリアを見てみると、TSMC ができる菊陽町や合志市は、今から人口が増えていくエリアで、これから先子育てや育児の事を、周りの人が助けてくれる情報は大事だと思う。
また、それを発信したい人たちがたくさんいるので、情報の入手先と受け手の若者やママと繋ぐラインがあってもいいのではないかと感じた。

事務局) 最終的には、メディアとして調べ、確証得てからの放送という流れをとっている。
頂いた意見は検討する。
これまでも女性活躍推進委員会や様々な企業と取り組んできた案件もある。
今後も増やしていきたい。

6. 番組審議「LIVE ニュース」

委員) 非常に LIVE 感がある。

事務局) 他局で出たご意見としては、外に出かけるときに番組を見て外にいる方の服装を参考に出かけるなど、本来の LIVE ニュースの趣旨とは違うが、そういうご意見もあった。

委員) この放送は、今も続いているのか。

事務局) 現在も週 2 回放送。まん延防止等重点措置が発令されてからは、スタジオから放送。ただ、新市街へカメラを持ち出し市街地の映像を毎回入れるようにしている。熊本市では、くまもと花博の準備も始まる。これからも街の生の様子を届けていきたい。

委員) 最後の地元情報、情報収集の方法は。

事務局) ジェイコムスタッフが取材し情報収集している。
今、地域の方が注目しているのはコロナ。
昨日から小児用ワクチン接種の予約が開始された。
そのような情報を各市、町から拾い集めている。

委員) 生放送 11 時という時間帯について、視聴者層はどこを狙っているのか。

事務局) 時間帯は、私どもも議論している。

ただ、現在の放送時間でも LIVE ニュースを見て

『今雨が降っていないからお出かけしようかな』等の小さな気づきが
LIVE 感を出す要素の 1 つではないのかという感触があった。

委員) 11 時の新市街はそんなに人が多くない。

逆に午後 3 時くらいになってくると、学生さんが帰るときに時間が合い、
賑やかな雰囲気が出てくるのかなっていう気がする。

委員) 番組を通し多くの人に出会うという事が、大事だと思う。

ここで放送をやっているんだよねっていう人たちが増えれば自然とジェイコム
という名も馴染んでいくはず。

委員) 他民放局で言うと、みんなで告知をするコーナーがある。

私たち役所の人間でさえ、緊急告知は直でやろう。といったニーズがある。

事務局) LIVE 感をどう見るか。工夫が必要。

時間によって決まるのであれば、時間を見直すことも考えないといけない。

委員) 視聴した VTR の情報に『市政だより』と記載があったが、

時間的にはどのくらい 0. A で流されているのか。

視聴エリアの合志市、益城町、菊陽町それぞれの情報を発信しているのか。

事務局) 情報量によって少し違って来るが、コーナーとして長い時で

5 分程度放送している。

1 つの情報でも、行政ごとに少しずつ情報が違う為、各エリアの情報を放送し、
緊急性があるものは時間を割いて放送している。

視聴者の欲しい情報が何なのかを把握することが大事。

対策としては、視聴者から質問を受け解決するような仕立てをとっている
コーナーもある。

委員) 『市政だより』を見る人が減少しているように思う。

高齢の方たちは、見る癖がついているが、若い人たちは『市政だより』を見ない
イメージがある。番組に取り上げることは良いことだと思う。

委員) 熊本局が毎年取材している中体連ありますよね。
制作スタッフが中体連取材行かれるが、どうやって視聴するのか
保護者は知らない。
どんな事業をやっているのかがわからない。という声はあると思う。

事務局) ジェイコムの認知度が熊本県では低い。
他エリアを見てみるとジェイコムは都市型のケーブルテレビで
知らない方はいない。
全国均一のジェイコム春キャンペーンのコマーシャルに、
熊本局のオリジナルで作ったCMをあわせて流す計画がある。
まずは、知っていただく。
認識していただくという活動も行っていきたい。

委員) ほかの県ではジェイコムという名が浸透してるのか。

事務局) 浸透している。

委員) LIVE ニュースの告知を Twitter されており、
毎日ツイートしていてフォロワーが約 900 人いる。
リツイートも 5 件から 3 件で、ざっくりが好きな人が、
リツイートしているようだ。
フォロワー数が増えると、ジェイコム熊本としてもっと認知されると思う。
また、地域のためになるという意味では、若い人たちも見てくれると思う。
例えば、熊本城にいきなり花火が上がったりしたら、
若い人はみんな Twitter で調べる。情報のキャッチは、Twitter が一番早い。
拡散されやすい方法として、動画を切り抜いてアップするとよい。
個人的に Twitter を活用し、認知度を高めていく有効なコンテンツとしては、
農業系だと思っている。

8. 番組審議「熊本地震復興記念特番」

委員) 熊本地震の時に何をしていたのか、衝撃が大きすぎて余り覚えていない。
さらに、記憶はどんどん忘れていくのだが、忘れてはいけないこともあると思う。
記憶を残していくことは大切なこと。
今後、残していくことも含めてご意見を求める。

委員) 頑張って制作したと感じる。

2年、3年前は全国編成のチャンネルで生放送していたと思うが、今は全国放送ではないのか。

事務局) 去年からは九州だけで放送している。

委員) 記録にして残していくことは大切だと思う。

委員) どういうテーマで使うかも大切。

委員) なぜ、復興がカタカナ？

事務局) 漢字にしたり、カタカナ、ひらがなにしたり、あらゆるパターンを考えた。印象に残っていただければなというところはある。

事務局) 番組が成立するよりも、継続した番組となる事が重要だと思う。

委員) 色んな情報が集まって、震災当初から現在はこういう風になっている。そういう復興過程の情報も伝えることが出来るのではないか。

委員) 地震復興祈念番組を続けていくことは大事。東北に行ってみると『思ったより復興していないんだ』と、目の前にしてびっくりすることがあった。熊本でも、『熊本城って復興している』と思うかもしれないが、熊本城の裏に行くとまだ全然復興している状況じゃない。視聴者目線でいくと、そこの現実を見たいと思う。本当の意味で20年越したときに、『本当にきれいになったね』と伝えるにも良い思う。

委員) 再起といったところで、されていないところもある。

事務局) ケーブルテレビならではの切り口で、大変だが他メディアと差別化できる番組制作を心がけたい。

委員) いろいろご意見聞かせて頂き発言したが、番組全体については良いなと思っている。地震の事を番組に残していくことも良いことだと思う。

9. 閉会挨拶

事務局) 本日はお忙しい中、長時間活発な審議を頂いた。

特に LIVE ニュースでは、視聴者の目線でいろいろと意見を交換している。

まさに、皆様からご質問頂いた放送時間の件や、情報に偏りがあるのではないか、という点を話し合っていた。

我々にも情報は沢山届いていて、例えば、商店街の方からは、『元気になるように商店街を撮ってほしい』と要望もある。

さまざまなことを意見交換しながらやっていきたいと思っている。

以上、閉会